

松江市総合文化センター内カフェに関するサウンディング型市場調査の結果公表

松江市総合文化センター（以下「総合文化センター」という。）は、現在大規模改修工事のため休館していますが、リニューアルオープン後、プラバホールは「芸術文化活動の拠点」として、中央図書館は「学びの拠点」として、より多くの市民の皆さまに親しまれ、利用されるよう、居心地の良い環境づくりを行うこととしています。

その一環として、施設内にあるカフェスペースを再整備しリニューアルすることとしていますが、民間事業者の皆さまの意向や出店の可能性を事前に調査把握し、実際のカフェ運営事業者募集の条件に反映させていくため、このたび本件に関心ある民間事業者の皆さまと対話を行うサウンディング型の市場調査（以下「サウンディング」という。）を実施しましたので、その結果を公表します。

1. サウンディングのスケジュール

実施要領の公表	8月29日（月）
現地見学会の開催	9月12日（月）～9月14日（水）
サウンディングの実施	10月17日（月）～10月21日（金）

2. 参加事業者

3事業者

3. サウンディング結果の概要

（1）カフェ運営事業者の公募に参加しやすくなるための意見

- ・市が考えるカフェの方向性が募集要項に明示してあると分かりやすい
- ・総合文化センターの来館者数やカフェの利用状況を詳しく教えてほしい
- ・リニューアル後のより詳しいカフェの図面が示してあると参加しやすい
- ・SNSを活用しカフェ運営事業者に周知を図るとよいと思う

（2）カフェ運営事業者決定から営業開始までの準備期間について

- ・6か月～8か月あるといい
- ・最低2か月は必要
- ・現在市が予定している準備期間（およそ1年3か月）で十分である

（3）使用期間等について

- ・運営業者側が用意する設備等の多さによるが初期費用の回収等を考慮すると、3年間は短い
- ・1年更新がいい

（4）費用（行政財産の使用料、光熱費等）について

- ・使用料は高いとは感じない
- ・1年目はどのような経営状況になるか見当がつかないので補助等考えてほしい